

【 診療科:消化器外科 】
 【 レジメン登録番号:SG-84 】

< Panitumumab+FOLFIRI療法 >

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)													
			1	2	3	4	5	6	7	8	14				
ベクティビックス	6mg/kg	div	○													
レボホリナート	200mg/m ²	div	○													
イリノテカン	150mg/m ²	側管div	○													
フルオロウラシル	400mg/m ²	div	○													
フルオロウラシル	2400mg/m ²	ci (or div)	○													

【1コース期間: 14 日】 【総コース数:制限なし】

【適応癌種: 大腸癌(EGFR陽性症例)】

【時期: 術前、術後 **手術不能・進行・再発**】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

<第1日目>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	デキサート 9.9.mg	div(15分で)
	生理食塩水 100mL	
Rp.2	ベクティビックス 6mg/kg	div(60分で)
	生理食塩水 100mL	
(Rp.3(初回のみ))	生理食塩水 100mL	div(30分で)
Rp.3	5-HT ₃ R Blocker 1A	div(30分で)
	マグネゾール 1A	
	生理食塩水 100mL	
Rp.4	レボホリナート 200mg/m ²	div(120分で)
	生理食塩水 250mL	
Rp.5	イリノテカン 150mg/m ²	側管div ^{※1} (90分で)
	生理食塩水 250mL	
Rp.6	フルオロウラシル 400mg/m ²	div(10分以内で)
	生理食塩水 100mL	
Rp.7	生理食塩水 50mL	div(全開で)
Rp.8 ^{※2}	フルオロウラシル 2400mg/m ²	ci(46時間で)
	生理食塩水(別紙希釈表により注入 ^{※3})	

【参考文献: NCCNガイドラインVersion2.2015 Colon Cancer, 大腸癌治療ガイドライン2014年版】

【備考: ※1…イリノテカンとレボホリナートは同時投与。】

【備考: ※2…Rp.8は携帯型ディスポーザブル注入ポンプ使用を原則とする。ポートがない場合は入院で施行する場合もある。】

入院の場合は、フルオロウラシル 2400mg/m² + 生理食塩水 500mL div(46時間で) でも可

【備考: ※3…生食希釈量は、携帯型ディスポーザブル注入ポンプの説明書を参照。】